

本年度の学校評価

本年度の重点目標	教職員全員が学科の枠を超えて情報を共有し、協力しあって生徒の指導にあたる体制を作り、教職員が範を示し、一丸となって、地域から求められる工業高校としての誇りを持った教育活動を推進する。また、規範意識の確立と自ら学びに向かい基礎的な学力や工業の専門知識を身につけた、社会の担い手となる心豊かな工業人を育成する。			
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項	
総務部	PTA会員に対し工科高校である本校への教育活動の興味・関心の向上を目指す。	・PTA行事等に多くの参加を図るためいろいろな意見を参考にし、また、Webページや、きずなネットを有効に活用する。	Webページや、きずなネットを有効に活用するとともに、各種行事が魅力あるものになるよう工夫し、保護者の積極的参加を図ることによって、本校の教育活動の興味・関心を高める。	
教務部	学習指導	・年度当初において「わかる授業のための調査」を生徒に対して実施し、わかる授業の実践に心がける。 ・第1学年の生徒に対し、第1学期中間考査後の約1カ月間、学習指導を実施する。	学習指導の展開や方法についての研究、研修を推進し、授業改善に努める。	
生徒指導部	基本的な生活習慣の確立と規律ある学校生活の定着を目指す いじめ防止対策の推進を行う。	・生徒が自然にあいさつできるような、全職員で協力し、あいさつ運動の実施を計画する。また、遅刻の減少に向けて遅刻指導を実施する。 ・日頃の身だしなみを整えられるよう細かい声掛けを全職員で行う。(1年生はネクタイ、2・3年生は制服のボタンを正しくつける指導) ・学年集会やホームルーム活動を通して、いじめ防止に関する講話やお互いの人権を尊重するホームルーム活動等を実施し、いじめ問題を考える機会を設ける。また、学校生活アンケートを実施していじめの早期発見を図る。	あいさつや身だしなみは、全職員で取り組むことができるよう、生徒指導部が率先して生徒の指導を行う。また、クラス別の遅刻数や遅刻指導の実施状況を把握し共有する。 学校生活アンケートを年に2回実施する。	
生徒会	学校ホームページについて常に内容改善に努めるとともに、新鮮で有効な情報発信を行う。家庭、地域、中学校に対する情報発信を積極的に行うとともに、ボランティア活動等を通じ地域貢献に心掛ける。	・学校行事等の様子をホームページにて紹介する。 ・部活動の活躍をホームページにて紹介する。	各学校行事において写真や行事の様子を簡潔に紹介。また、生徒の感想等をホームページに掲載する。部活動においては日々の活動や大会結果をホームページに更新できるようにする。その際、顔写真等を掲載する際は個人が特定されないよう、個人情報には特に注意を払いながら行う。	
進路指導部	教職員の連携を密にし、組織力を高め、お互いに協力し、日々の業務や学校行事等に取り組む。また、学校の発行する文書について点検体制を強化し、常に正確なものとするとともに、諸帳簿等を整理し、適切な処理を行う。	・学年会と生徒情報を共有し、進路指導体制の確立を図る。 ・各学年に応じた進路行事を通して、進路意識を高める。 ・調査書の点検体制を強化する。	学年会の進路指導担当を通して学年と連携を図り、進路行事等に取り組む。	
保健部	教員と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係を基に、全職員が、毎日の生活の中で、生徒に対してこまめに目を配り、声かけをし、暖かく粘り強い指導を行う。	・生徒が自主的に検温、手洗い、消毒、換気等コロナ対策ができるように指導し、清潔な学習環境を保つ。 ・支援を必要とする生徒の適切な対応と校内連携を行う。	生徒保健委員会、生徒美化委員会による保健活動の充実、校内環境の整備を行う。また、SC・SSWの有効的な活用と職員間の情報の共有に努める。	
図書部	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ、自ら学び続ける意欲や態度を養う。また、情報端末のルールづくりや授業におけるICT活用を推進し、教科の特性に応じた効果的な活用方法について情報共有を図るなど、教職員の指導向上に努める。	・生徒主体の図書館行事を目指し、作り上げる楽しさや達成感を体得させる。 ・広報活動を適切な時期に行い、図書館の積極的な利用につなげる。 ・生徒・職員が活用しやすい図書館作りを目指す。 ・授業で使用する視覚機器の配備・メンテナンスを適切に行う。	生徒図書視覚委員が自主的に活動し、成果を上げることができるよう、場面に応じた声かけをする。視覚機器については、利用しやすいような貸出を心がけ、使用する職員に確実な返却をさせていただくよう声かけをする。	
工務部	進路実現や資格取得など生徒に具体的な目標を持たせ、自ら努力しようとする意欲を引き出すとともに、個に合った進路決定やジュニアマイスターの取得者数などの向上を図るための指導体制を充実させる。	・検定試験や資格の告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。 ・検定試験や資格の学習に取り組みやすくなるように、指導体制を整える。	告知、掲示の情報を、生徒・職員に伝わりやすいようにする。	
学年	1年生	・規律を守るように指導する。(挨拶ができる。時間前の準備(朝、始業時)ができる。正しく制服を着用する。) ・遅刻をしないように指導する。(8時25分までに登校する。課題やレポートなどの提出物を遅れない。) ・いつもきれいな教室になるように指導する。(落ち着いた環境で、常に向上心を持って学習に取り組む。)	担任間で情報を共有し、関係職員と連携を図り、個々の生徒に合わせてきめ細かい指導をする。そして、学年主任を中心に、学年で一貫した指導を心掛ける。	
	2年生	・高校生としての立場をわきまえ、いつも正しい行動がとれるようにさせる。 ・挨拶、正しい制服の着用、言葉づかい、態度、きれいな黒板を心がけさせる。 ・進路について考えさせる。(具体的な進路希望・人生設計) ・資格取得の目標を立て、努力させる。	担任だけでなく、複数の教員で情報共有、指導を行う。また、生徒、教員共に、年間の計画を立てたうえで取り組むようにする。	
	3年生	・高校生としての立場をわきまえ、挨拶、言葉づかいなど、いつも正しい行動がとれるように指導する。 ・生徒によるネットトラブルを未然に防ぐため、スマートフォンや携帯電話の適切な使用マナーを指導する。	学級の情報を共有し、副担任や各分掌と連携を図り指導する。また、学年主任を中心に、学年で一貫した指導を心掛ける。	
学科	機械科	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ、自ら学び続ける意欲や態度を養う。	・機械に関する専門的な知識や技能を身につけさせるために、習熟度別授業やチームティーチング授業、補習授業などを工夫して授業展開を行う。	機械科職員間で連携を取り、生徒の個性に応じた指導ができるように取り組む。
	電気科	資格取得における指導の充実を図る。	・電気系科目と関連がある資格はその役割や効果を理解させ、学習目標のひとつとして資格取得を推奨する。 ・掲示物などを活用して資格案内などの情報を伝える。 ・必要に応じて授業の一部または、授業時間外などで学習指導を行う。	資格取得の意義を理解させ、主体的となり受験や学習できるよう指導する。また、資格の種類や受験案内を伝えて、取得までの具体的な学習方法を指導する。さらに個々の生徒の希望を把握し、状況により個別指導等を実施する。
	IT工学科	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ、自ら学び続ける意欲や態度を養う。また、新学習指導要領に向けた教育課程の編成を通して、地域から求められる新たな工業教育の在り方を検討する。	・学年、学科と連携を図り、科目の指導方法を共有しながら生徒指導にあたり、学ぶ意欲や態度を養う。 ・学科見学会、体験入学を通して、学科の情報を発信する。	学年、学科で連携を取り、生徒の個性に応じた指導ができるように取り組む。そして、広く情報発信を心掛ける。
	エネルギーシステム科	進路実現や資格取得など生徒に具体的な目標を持たせ、自ら努力しようとする意欲を引き出すとともに、個に合った進路決定やジュニアマイスターの取得者数などの向上を図るための指導体制を充実させる。	・自分が目指す職種または就職先ではどのような資格が必要となるかを調べる。 ・卒業するまでまたは1年間にどの資格を取得するか目標を立てさせる。 資格取得のための指導体制を確立する。	部活動に配慮し、資格指導を行う。そして、生徒の進路等に合わせて取得する資格を選ぶように指導する。また、資格取得が本人の負担にならないように指導する。
	エネルギー化学科	基本的な知識・技術の所得とともに、生徒自らが学び考える土壌を育成する。	・競技会の指導、各種検定や資格などの資料提供や指導を行う。 ・チームティーチング授業など多くの教員で関わりを持って指導する。	部活動や校外でのボランティアや各種活動なども視野に入れ指導を行っていく。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、マナーなど基本的な生活習慣の確立に努める。 ・わかる授業の実践により、基礎基本の確実な定着を図る。 ・いじめの未然防止に関わる適切な対応を図る。 ・教職員の在任時間の適正化と健康保持に努める。 		